

「震災を乗り越えて——世界とつながる——」

2012年度は、被災地と海外の交流、被災経験や復興への取り組みの共有を意識しながら、「復興・再生へむけて」「東北を伝える」「経験の共有・交流」という3つのテーマを設定し、事業を実施しました。関係者311人の協力を得て14カ国を対象に10の事業を行い、7万1,248人の人達がそれらに参加しました。

復興・再生へむけて



被災地では、復興・再生へ向けた多様な取り組みが行われています。音楽の力でコミュニティを支えるオーケストラ、津波で甚大な被害を受けた牡蠣漁の再生を通じた町の復興、震災直後からの被災地での建築家達の試み等、さまざまな分野で行われている取り組みを国際社会と共有する事業を実施しました。

仙台フィルハーモニー管弦楽団 ロシア公演

p.6-9

サンクトペテルブルク 2013年3月27日/モスクワ 2013年3月30日・31日 学校訪問 2013年4月1日

宮城牡蠣料理欧州巡回レクチャー・デモンストレーション

p.10-11

パリ[フランス] 2013年2月9日/ワルシャワ[ポーランド] 2013年2月12日/ドルトムント[ドイツ] 2013年2月15日

3.11——東日本大震災の直後、建築家はどのように対応したか [講演会] + 第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展シンポジウム

p.12-13

釜山[韓国] 2012年5月17日/ソウル[韓国] 2012年7月5日/モスクワ[ロシア] 2012年6月22日
 エレヴァン[アルメニア] 2012年7月17日/香港[中国] 2012年10月19日/北京[中国] 2012年11月29日
 ローマ[イタリア] 2012年10月23日/ケルン[ドイツ] 2012年12月12日/ヴェネチア[イタリア] 2012年8月29日

東北を伝える



“被災地”として世界中から注目されることとなった東北地方。しかし、東北地方の自然や歴史、伝統に育まれた豊かな文化は海外にあまり伝えられていません。2011年度に引き続き、東北地方が本来もつ豊かな魅力を海外に紹介するため、英国のフェスティバルや米国の野球場での始球式等、多くの人が集まる場での鹿踊り公演、また東北の姿を伝える写真展の会期にあわせた講演会を実施しました。

奥州金津流獅子躍 英国公演

p.14

オクスフォード 2012年9月6日/メイドストーン 2012年9月7日/ロンドン[テムズ・フェスティバル] 2012年9月8日・9日

行山流水戸辺鹿子躍 米国公演

p.15

アーリントン[テキサス・レンジャーズ対タンパベイ・レイズ戦始球式] 2012年8月28日/ダラス 2012年9月1日・[日米草の根交流サミット大会閉会式] 2012年9月2日

東北——風土・人・くらし [講演会]

p.15

マニラ[フィリピン] 2013年3月9日

経験の共有・交流



撮影：相川健一

はるか遠くの町に暮らしていても、同じ被災経験をもつ者同士だからこそ得られる理解と共感があります。宮城県各地と米国ニューオーリンズの青少年達はジャズを通じて、南三陸とチリの高生達は詩と物語の交換を通して、それぞれの被災経験を共有しながら交流を行いました。また、「日本—フランス紙芝居共同制作」と「ノルウェー・スコットランドアーティストの喜多方滞在制作」では、海外からアーティストを招へいし、その土地での滞在と土地の人との交流を通して作品制作を行いました。経験の共有と交流の取り組みです。

宮城——ニューオーリンズ 青少年ジャズ交流

p.16-17

石巻[石巻ジュニアジャズオーケストラと共演] 2012年10月7日/気仙沼[気仙沼ジュニアジャズオーケストラ「スウィング・ドルフィンズ」と共演] 2012年10月8日
 仙台[多賀城ブライトキッズほか仙台のジャズバンドと共演] 2012年10月9日/仙台[東北学院中学校・高等学校吹奏楽部との交流] 2012年10月10日
 公開報告会・東京 2012年10月11日

南三陸——チリ 青少年音楽・詩作交流

p.18-21

ワークショップ [日本・チリ] 2012年10月—2013年2月
 公演 [チリ] 2013年2月27日・3月1日/[日本] 2013年3月11日・12日・15日

日本——フランス紙芝居共同制作

p.22

制作期間2012年8月—10月
 読み聞かせ会[気仙沼] 2012年10月22日/[東京] 2012年10月23日/パリ[フランス] 2013年3月19日・20日

ノルウェー・スコットランド アーティストの喜多方滞在制作

p.23

滞在制作期間[喜多方] 2013年1月—3月

